

オイルレス アルミタンク エアコンプレッサ 静音タイプ 取扱説明書

RZ-SA0808ER AC100V電源



もくじ

安全上のご注意	1～3
各部のなまえとはたらき	4～5
ご使用前の準備	6～8
ご使用方法	9～11
安全装置・仕様について	12
作業の終了	13
お手入れ方法	14～15
お手入れ・保管	16
能力・仕様	17
故障かな?と思ったときに	18～19
保証書	23

- このたびはRETZLINK製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みの上、十分ご理解いただいで正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名及び販売店、レシートの証明書」などの記入を確かめ、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意 必ずお守りください。

- いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ※表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や傷害の程度を次の表示区分で説明しています。

 危険	「人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容」です。
 警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
 注意	「人が障害を負う可能性及び物質・財産の損害が発生する内容」です。

- ※なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
- いずれも安全に関する重大な内容を記載しているので、必ず守ってください。
- ※お守りいただく内容を下記の図記号で表しています。

 禁止	してはいけない内容です。
 実行	しなければならない内容です。

 危険	
 禁止	●揮発性可燃物・可燃性ガスの近くで使用しないでください。 ※引火または爆発や発火、火災のおそれがあります。
	●分解や改造はしないでください。 ※事故やけがのおそれがあります。
	●雨水や水の掛かる場所、湿気が多い場所での使用はしないでください。 ※漏電や感電などで発火の原因になります。
	●本機を人体や動物の送気用に使用しないでください。 ※コンプレッサからの吐出空気は絶対に使用しないでください。
	●本機の上に物を載せたり、座ったりしないでください。 ※転倒し破損や変形したりして、けがのおそれがあります。
	●作業場所や作業環境に注意し、特に子供は近づけないでください。 ※事故や火傷の原因になります。
	●ゴミやホコリの多い場所には設置しないでください。 ※加熱事故や故障の原因になります。
 実行	●ご使用前に本機取扱説明書を必ずよく読んで、使い方を理解してから使用してください。 ※守らないと事故やけが、故障の原因になります。
	●本機は平らで堅い場所を選んで設置してください。 ※不安定な場所に設置すると本機が転倒、振動で移動して事故やけがのおそれがあります。
	●使用前に本製品及び使用機器のボルトやネジの緩みなどの点検を行ってください。 ※故障や事故の原因になります。

安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 危険

❗ 実行

- 使用電源は単相交流AC100Vです。20A以上の漏電ブレーカーが設置されている電源を単独で使用してください。適切にアースを地中に埋め込んでください。（電気工事店に依頼する）
※アース線を適切に設置するには、電気工事士の資格が必要です。
- 本機を発電機でのご使用はお控えください。
※故障の原因になります。

⚠ 警告

🚫 禁止

- 空気の圧縮以外には使用しないでください。
※空気以外のガスを吸入すると爆発、発火のおそれがあります。
- 本機のモーターファン（カバー内）に異物を入れたり、近づけないでください。
※内部ファン部に巻き込まれ、故障の原因になります。
- 本機作動中や停止直後のモーターや金属部に直接触れないでください。
※圧縮空気や作動などで高温・熱くなっているので、火傷の原因になります。
- 本機を空気充填状態のまま長時間直射日光や、高温になる場所に放置しないでください。
※タンク内圧力が更に増し、高圧になってタンクが破裂するおそれがあります。
- 本機アース線をガス管・水道管などに接続しないでください。
※引火や爆発のおそれがあります。
- 本機を風通しの悪い場所や狭い場所（隔離した箱、車内など）では使用しないでください。
※本機の異常発熱となって故障、事故の原因になります。

❗ 実行

- ご使用前には本機電源コード及び差し込みプラグに損傷がないか点検をしてください。
※事故や発火、発熱などのおそれがあります。
- 使用する電源差し込み口も異常がないか点検をしてください。
※傷んでいたり、欠け、ヒビ割れ、ゴミ、湿気などで漏電、感電、火災の原因になります。
- 本機を始動させるときは、スイッチが【OFF】になっていることを確認してから、差し込みプラグを電源コンセントに接続してください。
※事故やけがのおそれがあります。
- 漏電に注意してください。使用中は身体にアースされている物に接触させないでください。
- 本機作動中に異常音の発生、各安全措置誤作動、タンク内圧力の低下などの症状が見られたら直ちに使用を中止し、お買い求め販売店にご相談ください。
※直ちにスイッチをOFFに、電源プラグを抜いてタンク内空気をエアロックで抜いてください。

⚠ 注意

<p>🚫 禁止</p>	<p>●本機によって圧縮された空気は湿気、大気中のホコリ等を一緒に吐出されるので、電子部品、人体等には使用しないでください。</p>
	<p>●タンク内圧縮空気やドレンで水抜きをする場合は、吐出口に顔や手を近づけないでください。 ※圧縮空気や内部水分排出で失明・耳などを傷めるおそれがあります。</p>
<p>🚫 実行</p>	<p>●作業場所は十分に明るくきれいにしてください。 ※暗くて視野が悪いと、事故やけがのおそれがあります。</p>
	<p>●本機を丁寧にお取り扱いください。 ※転倒や落下でタンク等に亀裂が入るおそれがあります。</p>
	<p>●本機の風通しをよくする為に、扉や壁面より30～40cm位離せる場所を選んでください。 ※作動すると本機は熱を発生する為、機械にやさしくなります。</p>
	<p>●作業は保護メガネを使用してください。空気吐出で粉塵が舞い上がったりするなど環境によっては防塵マスク・手袋・ヘルメット・安全靴・耳栓なども併用してください。 ※守らないと目、のど、人体に傷害をうけることがあります。</p>
	<p>●使用後は作業状態にもよりますが、月に一度定期的にドレンコックを開いてタンク内の水分を抜いてください。P-15参照 ※タンク内空気圧力全て吐出してから水抜きしないと、圧力による事故やけがのおそれがあります。</p>
	<p>●エアホースを本機より外すときは、タンク内空気が全て吐出してから外してください。 ※タンク内にエア圧力が残圧しているとカプラーが跳ね、けがや事故の原因になります。</p>
	<p>●環境保全のために、排出されたドレン（タンク内水分）の捨て場所を管理してください。 ※サビ水のため、きちんと溜められるトレイに水を受けて捨てるようにしてください。</p>
	<p>●使用しない場合は、乾燥した場所、子供の手の届かない鍵のかかる場所に保管してください。長時間使用しない場合は、ドレンコックを全開に開き5分以上作動して保管してください。 ※守らないと事故やけがの原因になります。また本機の寿命を縮める原因になります。</p>
	<p>●本機を作動して別途エア工具、道具使用の場合は都度使用機器の必要圧力を確認し、用途に応じて減圧弁（レギュレータ）で圧力を調整し、使用してください。 ※使用機器、道具の規定以上の圧力を掛けるとツールの故障のおそれがあります。</p>
	<p>●本機エアタンクはアルミ製です。強い衝撃・転倒などの衝撃に弱く、変形しますので注意してください。 ※エア漏れ、破裂等で事故やけがのおそれがあります。</p>

各部のなまえとはたらき

◇主要名称 ※詳細は以降の各ページにて記載しています。

RZ-SA0808ER タイプ



各部のなまえとはたらき

付属品・別売品

商 品	商品名 付属品数	別売品 品番
	◎コンプレッサ本体 1台	RZ-SA0808ER
	◎吸引口エアフィルタ (付属品) 1個	RZ-SA0808ER専用
	ワンタッチカプラーソケット (取付済) 1個	CS-4

※上記部品以外に、本機取付済部品が必要な場合は、部品名を販売店に問い合わせください。
ご用意できない部品もありますので、ご了承ください。

番号	部 品 名	機 能
①	吸引口エアフィルタ	吸引される空気に混じったゴミやホコリをキャッチします。
②	電源コード	本機の電源供給するアース付きコンセントです。
③	スイッチ (左右に押すタイプ)	作動/●(OFF) ライト消灯/—(ON) ライト点灯して使用します。
④	タンク内圧力計	タンク内の空気圧力を示します。
⑤	レギュレータ (減圧弁)	ダイヤル調整により吐出圧力をタンク内圧力より減圧します。
⑥	吐出圧力計	タンク圧力から吐出される空気圧力を示します。
⑦	吐出口ワンタッチカプラー	吐出可能な空気圧力がでるワンタッチ接続部です。
⑧	サーキットブレーカ	モーターに負荷電流が流れると黒いリセットボタンが飛び出し本機は停止します。2～5分後押しして再起動してください。
⑨	ドレンコック	本機タンクに溜まるドレン水を抜く為のコックです。
⑩	アルミ製タンク	タンク内に溜まるドレン水が鉄製タンクと違い錆水による故障を軽減できるようにアルミ製タンクにしました。

※本機は圧縮空気をタンクに溜めるため、作業環境・温度・湿度等によってタンク内に水が溜まりますので、日常的に作業終了後にはタンク内圧力を使いきってからドレンコックを開いてドレン水を抜いてください。タンクに空気圧力があってドレンコックを開くと先に空気だけが抜けてドレン水は出にくくなるので、タンク圧力は極力使いきってからにしてください。

※タンク内のドレン水はタンクに溜まるだけでなく、圧力空気と一緒に吐出されますので、使用ツールの点検も忘れないでおこなってください。水による故障に繋がります。

ご使用前の準備

◎使用前に「安全上のご注意」を必ずお守りください。「ご使用前の準備」をよく読んでから準備を進めてください。

1 付属品の確認・取付け

○本機開封後、次の物がそろっているか確認してください。

1. ワンタッチカプラーソケット (取付済) 1/4=1個
2. 吸引口エアフィルタ (付属品) の取付け P-7 図参考
※ネジ部にパイプシール等は巻かないでください。
シール等が吸引され故障の原因になります。

ワンタッチカプラー
ソケット 1/4



①吸引口
エアフィルタ



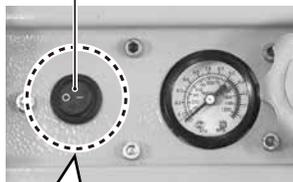
2 本体の点検

- 使用前にタンクのひびや亀裂またはサビなどがいないか確認をしてください。
※事故やけがの原因になります。
- 各部のボルトやナットが緩んでいないか点検をしてください。
- スイッチ板の計器類にひび割れ・破損・変形等が無いか確認をしてください。
※輸送途中や不意の転倒などで亀裂、緩みが原因で事故やけがのおそれがあります。

3 電源スイッチの確認

- 電源スイッチが○「OFF」になっていることを確認してください。(スイッチライト消灯)
— (ON) の状態でしたら ○ (OFF) に切り替えてから電源をコンセントに差し込んでください。
※必ず「OFF」にしないと不意に作動し、事故やけがのおそれがあります。通電状態にあるスイッチが— (ON) のときはスイッチライトが点灯しています。

電源スイッチ



OFF 状態

ON 状態



必ず電源
スイッチを
「OFF」
にしてから

接続する



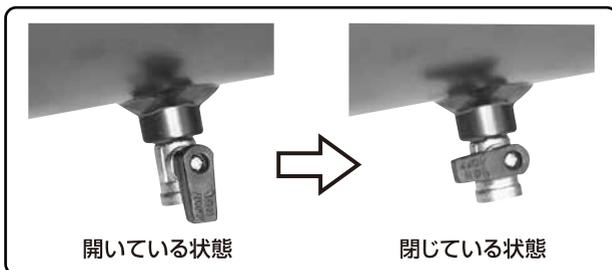
4 設置する場所の確認をする

- 本機を平らで堅い地面、風通しのよい場所で設置してください。
- 不安定な場所や、湿気やごみの多いところは避けてください。
※本機が転倒したり、振動で動いたり、加熱して故障や事故になるおそれがあります。
- 本機を台の上や物の上に置いたまま使用しないでください。
※本機の振動で落下して事故やけがのおそれがあります。
- 雨水など本機に当たらない場所に設置してください。

ご使用前の準備

5 ドレンコックの確認をする

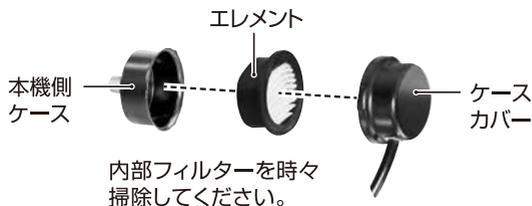
- タンク内に圧縮空気を溜めるため、⑨ドレンコックが閉じているか確認してください。



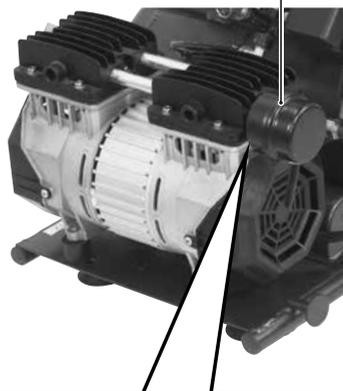
6 吸引口エアフィルタの取付け確認をする

- ①吸引口エアフィルタが本機正面より左側奥、モーターヘッドサイドに取付けてあるか確認をしてください。

※吸引口エアフィルタは作動時、常に空気が吸引されているので、汚れやゴミが付着し、本機の空気量が減少するのでモーターに負荷を掛けます。時々掃除をしてください。(ご使用後の点検に)



①吸引口エアフィルタ

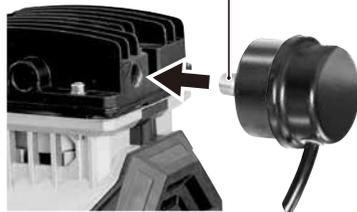


パイプシール不要



ネジ部にパイプシール等は巻かないでください。
メスネジ穴に吸引エアフィルターネジをそのまま時計回りにまわして締め込んでください。

ネジ部分にパイプシールは不要



ご使用前の準備

◎ご使用前の準備

吸引口エアフィルタは確実に取付けてある事を確認してください。

※取付けていないと異常音がしたりモーター内部に異物が吸引され故障の原因になります。

⚠ 注意

●パイプシール等は巻かないでください！

※故障の原因になります。

●取付け確認してから、本機スイッチが○「OFF」になっていることを確認し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

●スイッチの○「OFF」を確認してから、コンセントに接続してください。

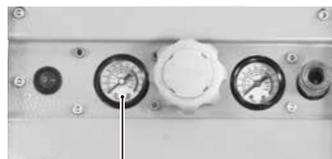
○電源はAC100V単独で使用してください。
(発電機からの接続はしないでください。)

○アース端子を接続してください。(最寄りの電気工事店依頼)

●やむを得ず延長コード使用の場合は、長さ10m以下断面積2mm以上を使用してください。



○ (OFF) にする



試運転

※安定した平らな場所であること。

- 1) 電源スイッチを入れてください。※スイッチ内ライトが点灯
1. モーターが作動し、タンク内部に圧縮空気が送られます。
※異常音や振動がないことを確認してください。
 2. タンクの圧縮空気が約0.8MPaになると、自動でモーターは停止します。
 3. 取付けてあるワンタッチカプラーに、販売店にある差し込みプラグのある機器・器具を差し込み、エアーを吐出してください。タンク内残圧が約0.6MPa未満に低下するとモーターが再起動することを確認してください。
 4. 再度作動状態でタンク内圧力が約0.8MPaになって自動停止します。スイッチを○「OFF」にして3.同様に空気を少しずつ開いて残圧を全て抜いてください。
- 空気を抜くときは風圧、低温になりますので、顔や手を近づけないでください。事故やけがの原因になります。

⚠ 警告

たとえ試運転でも本機を作動した場合は、空気の圧縮熱で金属部は熱によって高温になっていますので、絶対にモーターや耐圧ホースには触れないでください。

※火傷のおそれがあります。

ご使用方法

⚠ 警告

- 本機試運転の際、また通常作動直後は本機作動で空気圧縮熱での高温の為、金属熱が熱くなっておりまして、火傷のおそれがあります。絶対に素手で触れないでください。

1) 販売店のカプラープラグをご用意ください

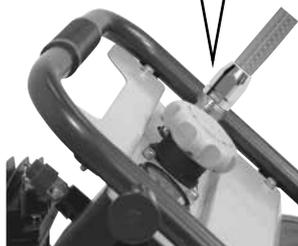
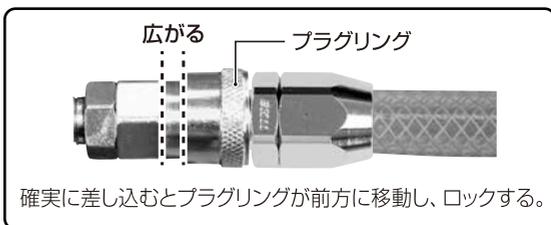
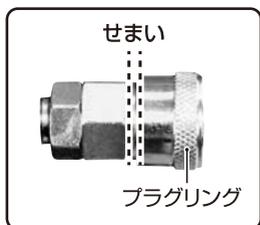
- 販売店のホース付きカプラープラグを別途お買い求めください。
- 作業目的に合ったエアツールも販売店で買い求めください。

2) 販売店の互換性のあるカプラープラグを取り付ける

- ワンタッチカプラーソケットに販売店のエアホース付カプラープラグを差し込んでください。しっかりと奥まで差し込むとワンタッチカプラーのリング部が手前に押し出されるので、外れない事を確認してください。接続完了です。※完全に外れないか引っ張って確認してください。外れると事故やけがのおそれがあります。



本機取付済のワンタッチカプラーソケットにプラグを差し込む。



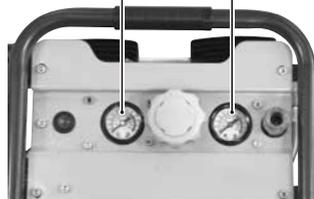
ご使用方法

3) 圧力計のみかた

○圧力計には2つの仕様が装備されています。

1. タンク内空気圧力を示す機能-①
2. 吐出する圧縮空気圧力を示す機能(レギュレータ調整によるもの) 4)レギュレータについて 参照
※タンク内圧力以下で指定された使用圧力範囲内で使用する。-②

①タンク内圧力計 ②吐出圧力計
(レギュレータメーター)



⚠ 注意

- レギュレータ調整ダイヤルをタンク圧以上に求め過ぎたりして調整ダイヤルの限界を超えて回すとレギュレータの破損・故障の原因になります。
- レギュレータは、タンクに溜められた残圧力以上での吐出圧力は求められません。
- レギュレータ調整ダイヤルは無理に限界を超えて回すと破損及び故障の原因になりますので、本機が最高圧で停止した状態で、レギュレータ調整ダイヤルを吐出圧力計を覗ながら減圧調整を行ってください。

4) レギュレータについて

本機最高圧力0.8Mpa圧力で作動停止してから調整してください。

○レギュレータ(減圧弁)はタンクに溜められた空気圧が吐出する空気圧を調整するものです。

1. エアツールによって使用される空気圧が違いますので、必ず使用されるツールに応じ指定された使用空気圧力でご使用ください。(0.8MPa以下)

2. レギュレータ調整ダイヤル部を左右に回してください。時計回りで現在のタンク内圧力に吐出調整が可能で時計の逆回しで現在のタンク内圧力以下での吐出が可能です。

※無理に回しすぎるとレギュレータ故障の原因になります。

●タンク内圧力以上の圧力は上がりませんのでご注意ください。

現在タンク空気圧力に対して

○ダイヤルを右に回すと＝タンク圧力同等の吐出空気圧力になる。

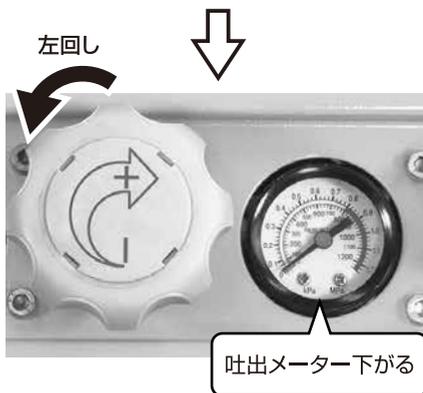
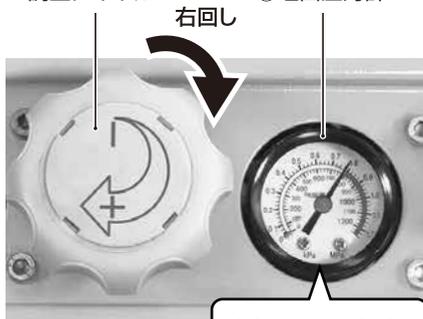
※タンク圧力以上吐出はできません。

○ダイヤルを左に回すと＝タンク内圧力以下での吐出圧力調整が可能。

※回しすぎると空気が吐出されません。

●レギュレータ調整ダイヤルは無理に回すとレギュレータ自体が故障します。

⑤レギュレータ調整ダイヤル ⑥吐出圧力計



ご使用方法

使用手順の確認

- ① 吸引口にエアフィルタが取付けてあること → ゴミやホコリを吸引しないため。
- ② 電源を確認するAC100V20A有効 → スイッチの右側を押して — (ON) 内部ライトが点灯する。
→ 本機の作動状態になる。
- ③ タンクのドレンコックが閉じていること → 圧縮空気が漏れないため。
- ④ 本機最高圧力で停止後、作業する条件にレギュレータで空気圧力を調整して使用してください。

安全装置・仕様について

本機をより安全にご使用いただくために、使用環境にやさしい仕様を下記にご説明いたします。

1) アルミ製タンク

- ◎タンク材質を従来の鉄製からアルミ製に変更し、タンク内で保留されるドレン水による錆・腐食水によって本機の各所に悪影響を軽減するアルミ製タンクにしました。
- ◎本機の持ち運びにも重量を軽減し、取手やタンク台座には強度を持たせるため鉄製にて補強しています。



2) オイルレス

- ◎本機は面倒なオイル交換の必要ないオイルレス方式を採用しています。オイル交換の手間がかかりません。

3) 静音タイプ

- ◎モーター内部に異常加熱を未然に防ぐ温度センサーを装備しています。ダブルピストンレシプロ方式のため、静音設計（当社比）で約65dBです。

4) 電磁弁制御

- ◎モーターの起動時や再起動時、万が一の停電やコンセントの抜け時にも電磁弁の制御によりモーター内の空気圧力を抜き、再起動時にモーターに掛かる負荷を軽減し、モーターの高寿命化を図っています。

5) 安全弁

- ◎万が一、異常に本機の圧力が上がりモーターが止まらない状態になっても、許容範囲設定圧がタンク内に溜まった時は安全の為、自動で空気圧が抜けるように安全弁が装備されています。
※個人での改造や取り外しは絶対にしないでください。事故やけがのおそれがあります。



⑪電磁弁

6) サーキットブレーカ装備

- ◎モーターに何らかの電力不足で負荷電流が生じた場合に、モーターを停止する装置を装備しています。電力不足（1コンセントより複数の電動工具同時使用）また延長コードによる使用（10m以上や断面積2.0mm²以下使用）によってサーキットブレーカ（黒いボタン）が飛び出します。再起動するには3～5分程経ってから黒いボタンを押して押された状態なら再起動してください。押しも押されない場合は、モーターを冷ましてから再度行ってください。

※何度も電力不足症状でサーキットブレーカが飛び出すとモーターは焼損し作動できなくなりますのでご注意ください。モーターは修理できません。



③電源スイッチ

7) スイッチ作動点灯し確認ができます

- ◎電源が正常に本機に通電されていれば、スイッチを押したときに、**— (ON)** スイッチ内部のライトが点灯しますので、スイッチを入れても作動しないなどの、（ライト点灯しない）通電確認ができます。



— (ON) にするとライト点灯

作業の終了

終了の手順

1. 作業終了後は本機の電源スイッチを○「OFF」にした後、電源コンセントからプラグを抜いてください。
2. 本機タンク内圧縮空気を全て使い切ってください。
※必ず使い切って残圧をなくすこと。
3. お使いのカブラープラグを抜く。(任意)

※吐出口のワンタッチカブラーソケットのプラグリングを内側に押して、カブラープラグを抜いてください。

●エアホース内に残圧の空気が残っていると、圧縮空気のかでカブラープラグが飛ばされたり(跳ねたり)してけがのおそれがありますので注意してください。

●取付けのワンタッチカブラーソケットは空気圧をストップ状態になりますので、プラグを抜くとエアは吐出されません。

⚠ 注意

- タンク内の残圧を使い切っておいてください。

4. 本機タンク内のドレン水を抜いてください。
エアタンク正面下部にあるドレンコックレバーを下に動かして、ドレン(水)を抜いてください。

※抜いた水にゴミ混じりの水がでる場合がありますので、トレイなどを置くとよいです。

●本機タンクドレンコックはタンクの真下にはありませんので、ドレンコックを開いた状態で、本機を手前に持ち上げてドレンコックが真下になるようにしてドレン水を抜いてください。

※足元や落下・転倒に注意しておこなってください。

⚠ 警告

- ドレンコックでタンク内の水を抜くときは、タンク内空気圧力を全て使い切ってから行ってください。
※空気圧力が残っていると、残圧で事故やけがのおそれがあります。
- 使用後は毎回必ずドレンコックを開いて水を排出してください。
※本機は水抜きをしないと、エアタンク内に水が溜まり、吐出される空気圧と一緒にエアホース内を通り使用される各種ツール内部に運ばれ、故障やサビの原因になります。(一番多い故障原因)
- ドレンコックで水抜きする場合は、手や顔を近づけないでください。
※タンク内の圧縮空気排出で、失明や耳を傷めるおそれがあります。

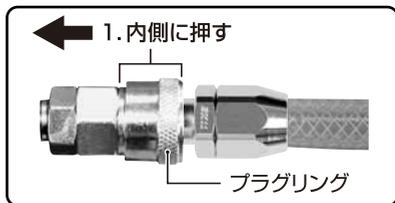
⚠ 注意

- 作業後に吐出口のエアコックから圧縮空気を抜くときは、本機のスイッチをOFFにして、吐出口にカブラー付きホースが取付けてある場合、カブラー付きホース使用のツール状態で、圧縮空気を吐出して抜いてください。また、取付けのワンタッチカブラー付きホースを取外してると取付けのワンタッチカブラーからは圧縮空気を抜けません。

電源スイッチ

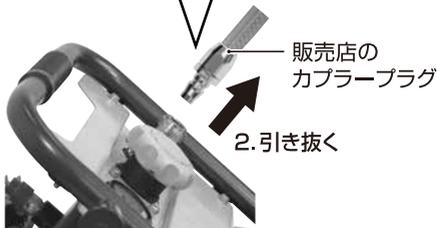


1. 内側に押す

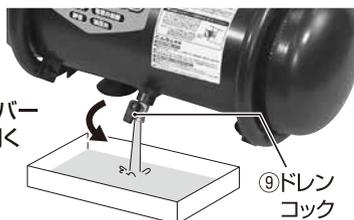


販売店の
カブラープラグ

2. 引き抜く



コックレバー
を下に開く



お手入れ方法

- ◎本機の性能や安全を保守・維持するために、定期的に点検をおこなってください。
お手入れの際は必ず電源スイッチを「OFF」にし、電源から差し込みプラグを抜いてからおこなってください。

吸引口エアフィルタの点検

●取付けの際はエアフィルタネジ部にパイプシール等は巻かないでください。

- 取付けの際はパイプシールを巻くとピストン部に吸い込まれ故障の原因になります。

1) 吸引口エアフィルタの点検

○吸引口エアフィルタは作動時、常に空気が吸引されているので、ゴミ・ホコリなどが付着し、吸引空気量が減少するため、本来の性能が発揮できません。汚れたら市販のエアダスター等で内部のエレメントまで掃除してください。またカバーから出るチューブ内も清掃してください。

2) 吸引口エアフィルタの本機側をレンチで固定し、外側のケースカバーを時計の逆回しで取外してください。

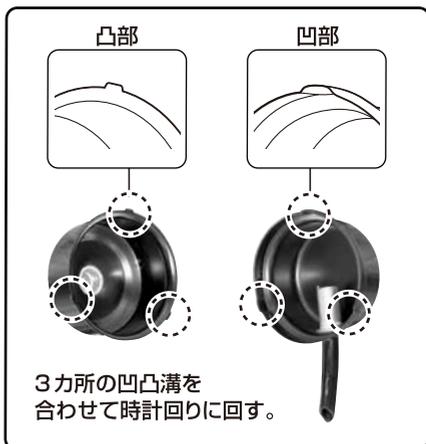
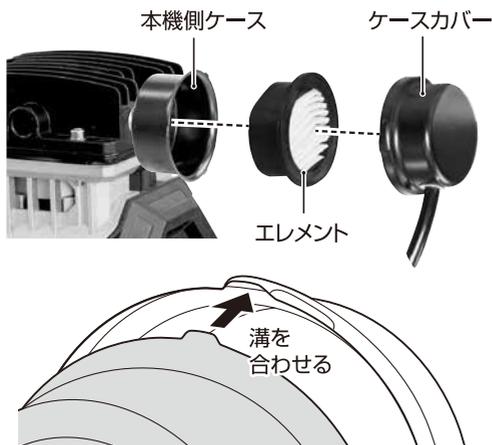
3) ケースキャップと本機側のケース中央に、エレメントがありますので汚れを吹き飛ばしてください。

※汚れが酷い場合は、部品としてご購入してください。(店舗へ)

4) 本機側ケースにエレメントをセットしてケースカバーを取付けてください。

※本機側ケースの凸部(3カ所)とケースカバーの凹部(3カ所)を合わせて差し込み、時計回りに回してください。

④吸引口エアフィルタ



各種圧力計の点検

- 各種圧力計は不意に物をぶつかけたり、落としてメーター表面が割れたり、欠けたりしたら、使用に問題がありますので、交換または修理依頼を販売店におこなってください。

※内部の湿気や劣化での故障もありますので注意してください。

- 圧力計が上昇するときに針が触れたり、速やかに動かずに刻みなから上昇する場合、計器の寿命ですので、修理点検を販売店におこなってください。

お手入れ方法

アルミ製タンクの水抜き

○本機を作動すると季節や湿気、または作業時間にもよりますが、タンク内にドレン水が溜まりますので、ほっておくと使用のダスターやツール内に水分が流れ作動不良や故障の原因になります。本機もスイッチユニットや電磁弁及び安全バルブも正常に作動しなくなり故障の原因になりますので、ドレン水の水抜きをこまめにおこなってください。

①タンク正面下にあるドレンコック (図-1) レバーを開く、の位置にします。

- ドレンコックはタンクの真下に設置されていませんので、設置位置とタンク内の底に溜まっているドレン水は抜けませんので、本機を持ち上げてドレンコックが真下になるようにして抜いてください。

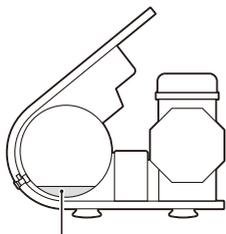
●ドレン水が落ちても汚れ・シミ問題が無いようにおこなってください。

(図-1)



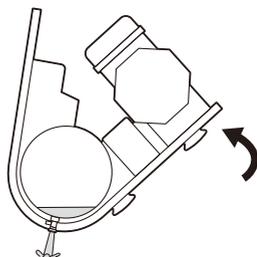
【断面図】

A)



底にドレン水が残ります。

B)



本体を斜めにしてドレンコックを下にし、底に残ったドレン水を抜く。
※本体を倒さないように注意してください。

モーターピストン部の清掃

●本機は雨水等の当たる場所、湿気が多い場所には置かないでください。

モーターの外観部アルミ及びPCですので、強い衝撃や硬いものを当てないでください。欠けたり、割れたり、変形しますので気をつけてください。

ゴミやホコリが付着した場合は、本機の空気圧力を用いて、エアダスターなどで吹き飛ばして清掃をおこなってください。冷却効果の向上になります。

※作業中や作業後は付近が熱くなっていますので、触らないでください。火傷の原因になります。



モーターの両側の冷却ファン部より時々エアダスター等の空気圧力を吹きかけて清掃してください。

お手入れ・保管

保証期間中は

- 保証書の規定に従って、お買上げの販売店が修理を受けさせていただきますので、恐れ入りますが、製品の取扱説明書（必須）及び店舗ご購入時のレジ発行の保証書またはレシート等の店舗日付のあるものを添えてください。
※不備があるときは保証期間であっても保証できない場合がありますので、ご了承ください。
- 保証期間であっても個人での分解・改造・壊したと思われる場合は、基本料等の請求をさせていただきます。また修理をお断りする場合がありますので、ご了承ください。

保証期間を過ぎている場合は

- 修理見積の基本料は有料です。修理すれば使用できる製品については、見積もりし希望によって修理させていただきます。
※修理せずにキャンセルする場合は、見積中の基本料はご請求させていただきます。当社にて無料処分も可能ですが、有料になる場合もございます。
- 修理検証の最中にキャンセル返却希望の場合は、基本料＋返送運賃一部請求になります。
※修理検証中、修理途中の場合は、組立てをせずに返却する場合がありますので、ご了承ください。

修理料金の仕組み

- 修理料金：基本料金は有料（商品によって異なります）見積書参照
※保証期間であっても、お客様の使用による問題である場合は有料となります。
- 技術料：有料 ※診断・故障場所・修理・調整・修理後点検、その他作業に掛かる費用。
- 部品代：有料 ※修理に使用した部品、及びその他の補助材料代です。
- 運送代：有料 受付販売店までの送料一部負担お願い致します。（機種により多少異なります。）
返送代は別途請求致します。（見積書参照）※九州・四国・北海道は別途料金になります。

能力・仕様

◎本機は各種エアツールの動力源となる圧縮空気を供給するための空気圧縮機です。
市販されるエアツールを接続し様々な用途の使用をすることができます。

品 番	RZ-SA0808ERタイプ
定格電圧	AC100V
定格周波数	50/60Hz
回転速度	1,400min-1/1,700min-1
定格消費電力	550W/580W
最高使用圧力(約)	0.8MPa
再起動圧力(約)	0.6MPa
タンク容量(約)	8L
流量(約)	90L/min / 109L/min
吐出口サイズ	R1/4 ワンタッチカプラーソケット付
作動音(約)	68dB (吸引フィルタ有)
質量(約)	16.8kg
サイズ(約)	幅430×奥行380×高さ380mm

- 商品改良のため、外観、仕様などを一部変更することがありますので、ご了承ください。
- 作業の際は、必ず使用するツールの必要圧力などを確認の上、用途に応じて使用してください。
- 圧縮空気には、湿気やホコリ等が混入し吐出されますので、電子部品や乾燥には使用しないでください。
- 用途以外には重大な損害や事故・けがの原因になりますので絶対に使用しないでください。
- 人、動物などに直接エア源を当てないでください。
※けがをすることがあります。
- 本機の故障を防ぐため、前ページのお手入れ・保管をよく読んでください。

故障かな?と思ったときに

	状態	原因	処理
使用前	<ul style="list-style-type: none"> ●付属品不足。 ●部品の損傷。 ●取扱説明書不備。 	<ul style="list-style-type: none"> ●出荷時の入れ込みミス。 ●輸送途中による転倒・取扱状態による。 	<ul style="list-style-type: none"> ●販売店にお申し出ください。
使用中	<ul style="list-style-type: none"> ●作動しない。 ●サーキットブレーカが飛び出ている。 ●サーキットブレーカを押しても直ぐにボタンが飛び出る。 ●圧力が上がらない。 ●タンクには圧力は溜まるが吐出されない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●必要電力が通電していない。 ●タンク内圧力が既に0.6MPa以上0.8MPa以下にあるため作動しない設計です。 ●電力不足でモーターが作動せず、電力が熱に変わりモーター焼損防ぎ安全装置作動状態です。 ●延長コード10m以上使用し、電圧ドロップしている状態。 ●各部にエア漏れ、コックの締め忘れはありませんか。 ●レギュレータで吐出圧力を調整する。P-10 ●取付のワンタッチカプラソケットはプラグを差し込まないとエアが止まります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●必要電源を確保してください。 ●タンク内圧力が0.6MPa以下に下がると電源が入りスイッチをONで作動します。作動しない場合は、販売店に修理依頼をお願い致します。 ●電源スイッチをOFFにする。モーター温度低下まで約3~5分後にサーキットブレーカを押して再度スイッチを入れる。 ●やむを得ず延長コードを使用する場合は、コード断面積2.0mm²で10m以内、電源は単独20A以上でご使用ください。 ●コック類を締める。 ●石鹸水をエア漏れ音に塗って確認し、販売店に修理依頼してください。 ●タンク内圧力以上の吐出はできません。下げる圧力調整するものです。 ●市販のカプラプラグ(互換性有)を差し込んでエアを吐出できます。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●エアの溜まりが遅くなった。 ●最高圧で停止後エア漏れ音がする。 ●電磁弁より高圧停止後にエアが漏れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●吸引口エアフィルタにゴミが付着している。 ●エア漏れ部分だけの問題では無いことがありますので、個人での分解はしない。 ●定圧で本機停止後に電磁部モーター間のホース内圧力を抜いて、次の作動時の負荷を掛けないようにする機能。 	<ul style="list-style-type: none"> ●吸引力が落ちているので、P-15参照し、清掃をおこなってください。 ●販売店にお持ちください。ご相談の上、修理依頼をおこなってください。 ●定圧で本機停止後に電磁弁よりエアがシューッと漏れる事は仕様の範囲で故障ではありません。 ●タンク圧力が0.8MPa以下でもエアが漏れる場合は修理依頼してください。

故障かな?と思ったときに

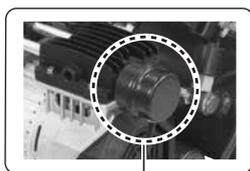
	状態	原因	処理
その他		<ul style="list-style-type: none"> ●環境によって、湿度・温度差等によって圧縮された空気内に混ざり水滴が溜まる。 ●タンク内にドレン水が溜まっている状況です。 	<ul style="list-style-type: none"> ●タンク内のエアを全て使い切ってからタンクドレンを開いて、ドレン水を抽出し、また本機を傾けてドレン水を抽出してください。

※上記の症状や対処でも正常に作動しない場合は、お手数ですが販売店までご連絡ください。
直接当社または販売店に送付されても、処理、対応が出来ない場合がありますので、ご了承ください。

※本機の保管について

長期に使用しない場合は、きちんとタンクドレン水を抜いて、ゴミやホコリ、雨水等掛からないようにして保管してください。乾燥した場所、湿気の少ない場所、子供の手の届かない場所に保管し、必ず使用直後にタンク部のドレンコックを開いて、2～3分程度運転をして水抜きをしてください。

❗必ずおこなう

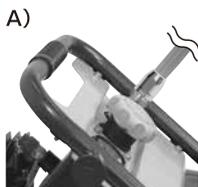


①吸引口エアフィルタ内のエレメントを取り出して清掃してください。
(P-14参考)



②タンク内のドレン水は、こまめに抜いてください。
(P-15参考)

ドレン水の抜き方



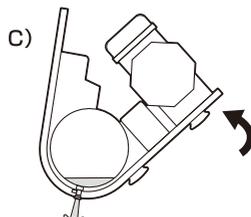
A) タンク内圧力空気を全て使い切る。
(抜き切る)



B) ドレンコックを開く



底にドレン水が残ります。



C) 本体を斜めにしてドレンコックを下にし、底に残ったドレン水を抜く。
※本体を倒さないように注意してください。

オイルレス アルミタンク エアコンプレッサ 静音タイプ RZ-SA0808ER 保証書 (保証期間/お買い上げ日より6ヶ月(半年))

無料修理規定

- 1.本書はお買い上げ商品にのみ適用されますので、一切の工事費用などには適用外となります。
- 2.保証期間内でも次のような場合は有料となります。
 - 使用上の誤り、不当な改造・修理による故障及び損傷。
 - お買い上げ後の移動・輸送・引越し・落下などによる故障及び損傷。
 - 火災・水害・地震・落雷・その他の天変地異・公害や異常電圧による故障及び損傷。
 - 一般家庭用以外に(業務用の長時間使用・車両・船舶への搭載作業)使用された場合の故障及び損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書に販売店名・お買い上げ年月日を証明される物が無い場合、あるいは文字を書き換えられた場合。
- 3.本書は付属品及び消耗品には適用されません。
- 4.本書は日本国内においてのみ適用されます。This warranty is valid only in Japan.
- 5.本書は最初の購入にのみ適用され、以降の転売、譲渡には適用されません。
- 6.この保証書は、本書に明示した条件・期間のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 7.保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。
 - ※修理可能な場合は、お客様のご希望により有料で修理させていただきます。また、修理ができない場合もございますので予めご了承ください。

◆お客様相談窓口における個人情報の取り扱い
 弊社は、お客様へのサービス提供のため、収集目的を通知した上で必要な範囲の個人情報や相談内容を集積させていただき、その記録を残すことがあります。個人情報を適切に保管して、修理業務などのサービスを行うために必要な範囲内で開示する場合や、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供はしません。

本書は販売店名・お買い上げ年月日を証明できるもの(販売店レシートや証明書)が添付されていない場合は無効です。保証期間であっても有料修理となりますので必ずご確認ください。

- 保証期間内に取扱保証書等の注意書きに従って、正常な使用・保管状態で故障した場合には、本書により無償で修理いたします。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合には、商品(本体、付属品)と保証書(販売店レシートや証明書を付けたもの)をご持参の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。

品名	RETZLINK オイルレスアルミタンク エアコンプレッサ 静音タイプ RZ-SA0808ER	JAN	4920501514720	お買い上げ 年月日	年 月 日
----	---	-----	---------------	--------------	-------

お客様	ご住所 _____
	お名前 _____様 電話 _____
販売店 販売店レシート 証明書など添付	ご住所 _____
	社名・店舗 _____印
	電話 _____

の欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

株式会社 RETZ

〒959-1156 新潟県三条市福島新田1347-4

お客様お問い合わせ窓口：TEL 0256-45-3701

受付時間 月～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00
 (土・日・祝祭日・当社指定休日を除く)

●商品の仕様・外観は改良の為、変更することがあります。